令和7年津和野警察署運営指針

住民を守る強く優しい警察

~住民とともに築く安全安心な「かのあし」~

重点目標

子ども・女性・高齢者を重点とした安全安心な住民生活の確保

住民が実感できる犯罪抑止対策のほか、人身の安全を確保するための取組や積極的な街頭活動により、子どもや女性、高齢者等が安全で安心できる社会の実現を目指します。 **資料1**

組織犯罪対策の推進と凶悪な犯罪等の徹底検挙

匿名・流動型犯罪グループ等の実態解明に向けた捜査を推進します。また、凶悪な犯罪などの早期検挙に努めます。 **資料 2**

死亡・重傷事故を重点とした総合的な交通事故防止対策の推進

交通事故分析の高度化による死亡・重傷事故の防止に効果的な交通安全教育や積極的な街頭活動等に取り組むとともに、官民が連携した各種施策を推進します。 資料3

テロ等の未然防止と災害等への的確な対処

テロや大規模災害等に備え、関係機関、民間事業者等と連携した官民一体の対策を講じると ともに、実践的な訓練を重ね、対処能力の向上に努めます。 **資料4**

サイバー空間における脅威への的確な対処

深刻化するサイバー空間の脅威に的確に対処できる態勢を整備するとともに、社会全体の サイバーセキュリティ強化に向けた取組を推進します。 **資料 5**

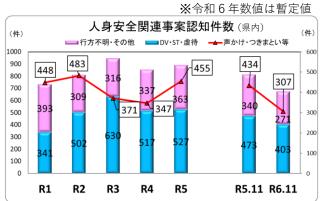
社会の変化に適応する警察運営の推進

人口減少・少子高齢化を始めとする社会の変化に適切に対応し、住民の期待と信頼に応える 施策を推進するとともに、警察が総合力を発揮できる組織づくりを推進します。 **資料 6**

子ども・女性・高齢者を重点とした安全安心な住民生活の確保

現状と課題





《課題》

- 人身安全関連事案が、依然として高水準で推移
- 特殊詐欺やSNS型投資等詐欺に対する県民の当事 者意識の浸透及び金融機関やコンビニエンスストア など関連事業者との連携強化
- 効率的な地域警察運営による街頭活動時間の確保



【特殊詐欺被害防止功労者表彰 6/27】

【特殊詐欺被害防止功労者表彰 3/20】

推進事項と主な取組施策

1 子どもや女性の安全を確保するための取組の推進

- ① DV・ストーカー・児童虐待等の人身安全関連事案における被害者保護の徹底
- ② 子ども・女性に対する声かけ・つきまとい事案における諸対策の推進
- ③ 少年の非行・被害防止など子どもの安全を守るための取組の推進

2 高齢者等に対する犯罪抑止対策の推進と取締りの徹底

- ① 特殊詐欺・SNS型投資等詐欺における被害防止対策の推進
- ② 生活経済事犯や生活環境事犯及び風俗事犯等の取締りの徹底と再発防止対策の推進

3 地域警察における街頭活動の強化及び事態対処能力の向上

- ① 職務質問を始めとする積極的な街頭活動の強化
- ② 110番通報への適切な対応と通信指令システムの高度化による初動警察活動の強化

組織犯罪対策の推進と凶悪な犯罪等の徹底検挙

現状と課題

《現状》

※令和6年数値は暫定値



《課題》

- 匿名・流動型犯罪グループ等の実態解明 と捜査の推進
- 的確な初動捜査による早期事件検挙
- 住民への早期相談や早期通報の広報啓発





【寸劇や高齢者サロンを活用した特殊詐欺被害防止対策】

推進事項と主な取組施策

1 匿名・流動型犯罪グループを始めとする組織犯罪対策の推進

- ① 匿名・流動型犯罪グループに対する総合対策と犯罪収益の剥奪
- ② 中枢被疑者検挙に向けた特殊詐欺、SNS型投資詐欺事件等捜査の推進
- ③ 六代目山口組傘下組織に対する集中対策と暴力団排除活動の推進
- ④ 薬物・銃器犯罪の取締りと効果的な広報啓発活動の推進
- ⑤ 在留外国人に係る犯罪被害防止と外国人コミュニティへの犯罪組織等の浸透防止

2 重要犯罪・重要窃盗犯の徹底検挙

- ① 殺人・強盗等重要犯罪捜査の徹底
- ② 侵入盗等重要窃盗犯捜査の徹底
- ③ 人身安全関連事案に対する捜査の徹底

3 重要知能犯の徹底検挙

- ① 贈収賄事件等構造的不正に着目した捜査の徹底
- ② 厳正、公平な選挙違反取締りの徹底
- ③ 金融・企業犯罪等経済的不正に対する捜査の徹底

4 緻密かつ適正な捜査の推進

- ① 鑑識活動による現場資料の収集及び適正捜査による証拠の収集による的確な立証
- ② 防犯カメラ映像の活用や犯罪関連情報の総合的な分析による捜査支援の推進

死亡・重傷事故を重点とした総合的な交通事故防止対策の推進

現状と課題

《現状》

交通事故死者数の状況





交通事故発生状況

■■全事故件数 —

- うち高齢者数

	R2	R3	R4	R5	R6.11末
全死者数	1	1	1	2	0
うち高齢者数	1	1	1	1	0
会死老に上める割合	100%	100%	100%	E0%	

	R2	R3	R4	R5	R6.11末
全事故件数	11	14	8	10	10
うち高齢者数	10	6	5	7	8
全交通事故に占める割合	90.9%	42.9%	62.5%	70.0%	80.0%

《課題》

■ 交通事故発生件数は、近年、多少の増減はあるもの のほぼ横ばいの傾向で、高齢者が関与する事故件数は 高率で推移





【中学生に対する自転車教室】

【高齢者に対するKYT講習】

推進事項と主な取組施策

1 行動変容に資する交通安全教育及び広報啓発活動

- ① 高齢者の交通事故抑止に向けた取組
- ② 自動車運転者の安全運転に向けた取組
- ③ 歩行者及び自転車利用者の安全確保に向けた取組

2 街頭活動及び捜査の強化

- ① 地域の実情に応じた効果的な街頭活動
- ② 悪質・危険性の高い違反に対する指導取締り
- ③ 適正かつ緻密な捜査及び組織的な被害者支援

3 安全で円滑な交通環境の整備

- ① 交通実態の変化に適応した的確な交通規制
- ② 交通実態に即した効果的かつ効率的な交通安全施設の整備と適正な維持管理
- ③ 交通円滑化対策及び大規模災害に備えた交通対策

4 運転免許行政の円滑な運用

- ① 新たな免許制度の適切な運営
- ② 高齢者等対象に応じた安全運転対策
- ③ 迅速な行政処分による悪質・危険運転者の早期排除

テロ等の未然防止と災害等への的確な対処

現状と課題

《現状》

- 世界各地で過激思想に影響を受けたテロが発生 しているほか、国内でもローン・オフェンダー等 による違法行為が発生
- 技術情報の獲得等、対日有害活動が活発化する 中、県内にも先端技術を保有する企業等が存在
- 近年、自然災害は全国的に激甚化・頻発化の傾向にあり、県内でも大雨による水害や土砂災害が発生

《課題》

- テロの標的となり得る重要施設等の警戒 警備と各種対策の更なる推進
- 情勢に応じた警護の実施等、的確な警備 諸対策の推進
- 先端技術流出防止対策を始めとした経済 安全保障の更なる推進
- 大規模災害等緊急事態発生に備えた対処 能力の向上







【警護訓練】



【災害装備資機材習熟訓練】

推進事項と主な取組施策

1 テロ等の未然防止対策の推進

- ① ローン・オフェンダー等に関する諸対策の推進
- ② 官民一体となったテロ対策の推進
- ③ テロの標的となり得る施設に対する警戒警備の徹底

2 諸情勢を踏まえた警備諸対策の推進

- ① 「竹島の日」や大阪・関西万博等における総合力を発揮した警備諸対策の推進
- ② 治安情勢に応じた的確な要人警護
- ③ 経済安全保障の推進と対日有害活動への厳正な対処

3 大規模災害等の緊急事態への的確な対処

- ① 災害発生状況等を踏まえた危機管理体制の強化
- ② 防災関係機関との連携の強化
- ③ 緊急事態発生時における迅速・的確な警察活動の展開

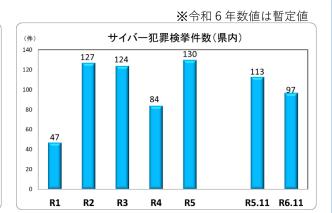
サイバー空間における脅威への的確な対処

現状と課題

《現状》

※令和6年数値は暫定値





《課題》

- 高度な技術を悪用したサイバー事案への対応と 実態解明
- 社会全体のサイバーセキュリティ意識の醸成
- サイバー人材の育成





【サイバー防犯ボランティア委嘱】

【インターネットセキュリティー教室】

推進事項と主な取組施策

1 サイバー事案対策の推進

- ① サイバー事案捜査の徹底による実態の解明と検挙
- ② 通報・相談に潜在する新たな手口等への確実な対応
- ③ 事件主管部門に対する積極的な支援とサイバー関連情報の収集

2 官民連携による各種対策の推進

- ① 関係団体・ボランティア等と連携した県民のサイバーセキュリティ意識の醸成
- ② 重要インフラ事業者と連携したサイバーテロの防止に向けた取組

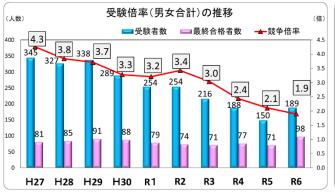
3 人的・物的基盤の強化

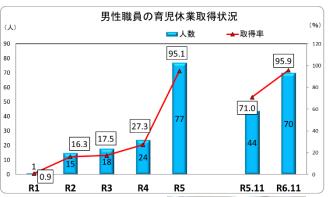
- ① 高度な専門知識・技能を有するサイバー捜査員の育成
- ② 全職員の対処能力の向上
- ③ 捜査支援用ツールの充実強化

社会の変化に適応する警察運営の推進

現状と課題

《現状》





《課題》

- 若年人口の減少等により、人材獲得競争が激化し、 警察官採用試験の受験者数は過去10年で半減
- 社会の変化に適応し、柔軟かつ迅速に対応し得る 組織の構築が急務





【職場体験】

【署長と若手職員の意見交会】

推進事項と主な取組施策

1 住民の期待と信頼に応える施策の推進

- ① 効果的な情報発信や県民の声への適切な対応
- ② 犯罪被害者等へのきめ細やかな支援
- ③ 基本を遵守した適正な業務運営

2 将来を見据えた人的・物的基盤の強化

- ① 優秀な人材の確保と将来を担う職員の育成
- ② 現場執行力を維持、向上させるための若手職員に対する教養訓練の実施
- ③ 警察施設と装備資機材の計画的な整備

3 活力に満ちた職場環境の構築

- ① ワークライフバランスの推進による職員が働きやすい職場環境の構築
- ② 業務の見直しやデジタル技術の活用による業務の合理化・効率化